

課 長	工 務 官	係 長	監督職員

材 料 承 諾 願

平成 年 月 日

監 督 職 員 殿

請 負 人 株式会社 舛ノ内組
現場代理人 畔柳正男



下記のとおり関係書類を提出しますので承諾願います。

- 1 . 工 事 名 両総農業水利事業 第2揚水機場構内整備その4その他工事
- 2 . 材 料 名 アスファルト混合物(密粒13mm)

1112-54-003

第2揚水機場構内整備その4その他工事

アスファルト舗装の混合物承認願

康和建設株式会社千葉支店

多古瀝青混合工場試験室

千葉県香取郡多古町飯笹855-3番地

電話 (0479) 75-1145番



〔使用アスファルト混合物承認願い〕

平成 年 月 日

発注者 関東農政局 両総農業水利事業所

受注者 株式会社 舩ノ内組

工事名 両総農業水利事業
第2揚水機場構内整備その4その他工事

場 所 千葉県山武郡横芝町寺方地内外

工 期 平成 12年 7月 10日～平成 12年 7月 21日

本工事に使用する下記アスファルト混合物については、事前審査の認定を受けております。

使用アスファルト混合物承認願いとしまして、「認定証」および、「総括一覧表」、「設計値一覧表」を、提出致します。
よろしくお願いたします。

康和建設株式会社

工場名 康和建設株式会社 瀝青混合工場
住 所 〒289-0201 千葉県山武郡古町飯笹855-3
TEL 0479-75-1145
FAX 0479-75-1146

1. 加熱アスファルト混合物

密粒度アスファルト混合物 (13mm-50回)

2. 再生アスファルト混合物

認定番号 8312-031-0003

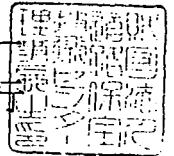
認 定 証

康和建設(株)千葉瀝青混合工場
工場長 杉田 一誠 殿

アスファルト混合物事前審査制度による審査の結果
貴混合所の下記アスファルト混合物を認定します。

平成12年 3月16日

財団法人 道路保全技術センター
理事長 多田 宏 行



記

番号	認定混合物記号	アスファルト混合物の名称
1	V-02	粗粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
2	V-04	密粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
3	V-06	密粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
4	V-08	細粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
5	R-02	再生粗粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
6	R-03A	再生特別対策粗粒度アスファルト混合物(20)(75回) 改質Ⅱ型
7	R-04	再生密粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
8	R-04A	再生密粒度アスファルト混合物(20)(75回) 60/80
9	R-05A	再生特別対策密粒度アスファルト混合物(20)(75回) 改質Ⅱ型
10	R-06	再生密粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
11	R-08	再生細粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
12		以上
13		
14		
15		

有効期間	平成12年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日
------	---------------------------

※ (T)がついた混合物は東京都土木材料仕様書の基準値をも満足するものである。
(K)がついた混合物は建設省関東地方建設局の基準値を満足するものである。

アスファルト混合物事前審査・認定混合物

[設計値一覧表]

康和建設株式会社
千葉瀝青混合工場

平成12年度

種別	記号	混合物名	使用 アスファルト (密度)	混合物設計値			
				基準密度 (理論密度) (g/cm ³)	AS量 (%)	粒度(%)	
						2.36mm	0.075mm
一般 合 材	V-02	粗粒度アスファルト混合物 (20) [50]	60~80 (1.033)	2.393 (2.503)	4.90	28.1	4.5
	V-04	密粒度アスファルト混合物 (20) [50]	60~80 (1.033)	2.396 (2.489)	5.30	38.5	5.8
	V-06	密粒度アスファルト混合物 (13) [50]	60~80 (1.033)	2.374 (2.472)	5.50	39.8	6.0
	V-08	細粒度アスファルト混合物 (13) [50]	60~80 (1.033)	2.345 (2.441)	6.40	53.3	7.7
再 生 合 材	R-02	再生粗粒度アスコン (20) [50]	60~80 (1.034)	2.393 (2.500)	5.00	28.5	4.6
	R-03A	再生改質粗粒度アスコン (20) [75]	改質Ⅱ型 (1.031)	2.400 (2.507)	4.80	28.5	4.6
	R-04	再生密粒度アスコン (20) [50]	60~80 (1.032)	2.399 (2.488)	5.30	38.8	5.9
	R-04A	再生密粒度アスコン (20) [75]	60~80 (1.032)	2.403 (2.492)	5.20	38.8	5.9
	R-05A	再生改質密粒度アスコン (20) [75]	改質Ⅱ型 (1.031)	2.402 (2.492)	5.20	38.8	5.9
	R-06	再生密粒度アスコン (13) [50]	60~80 (1.032)	2.375 (2.471)	5.50	40.0	6.1
	R-08	再生細粒度アスコン (13) [50]	60~80 (1.031)	2.345 (2.440)	6.40	53.1	7.5

事前審査認定アスファルト混合物（新規混合物）総括表



認定番号	8312-031-0003		混合所名	康和建设(株) 千葉瀝青混合工場		
認定証混合物番号						3 / 11
混合物記号	V-06		有効期間	平成12年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日		
混合物の名称	密粒度アスファルト混合物(13)(50)60/80					
最大粒径	13 mm		突固め回数	50 回		
アスファルトの種類	ストレート 60/80			配合設計年月	平成11年10月	
使用骨材の室内配合・材質・産地				現場配合		
骨材名	配合比 (%)	材質	産地	種別	配合比 (%)	計量値 (kg)
C-				5ピン		
4号碎石				4ピン		
5号碎石				3ピン	27.9	167
6号碎石	35.0	硬質砂岩	茨城県西茨城郡岩瀬町	2ピン	29.3	176
7号碎石	27.5	"	"	1ピン	33.5	201
スクリーニングス	15.5	石灰岩	栃木県安蘇郡葛生町			
細砂	18.0	洗砂	千葉県香取郡栗源町	ダスト	0.8	4.8
石粉	4.0	石灰岩	東京都西多摩郡奥多摩町	石粉	3.0	18
				アスファルト	5.5	33
				改質材*		
計	100.0			計	100.0	599.8
通過質量百分率 %	ふるい目	室内配合	現場配合	確認抽出試験	粒度範囲	
	37.5 mm					
	31.5 mm					
	26.5 mm					
	19 mm	100	100	100	100	
	13.2 mm	98.8	99.4	99.3	95 ~ 100	
	4.75 mm	65.2	64.8	63.5	55 ~ 70	
	2.36 mm	39.9	39.8	39.5	35 ~ 50	
	600 μm	26.5	26.2	27.9	18 ~ 30	
	300 μm	17.7	18.4	18.8	10 ~ 21	
150 μm	9.0	9.0	9.9	6 ~ 16		
75 μm	6.2	6.0	7.0	4 ~ 8		
アスファルト量 (%)		室内配合	現場配合	確認試験	基準値	
設計 5.5		設計 5.5	設定 5.5	抽出 5.5	5 ~ 7	
マ安定度試験	密度 (g/cm ³)	2.372	2.374	2.374		
	理論密度 (g/cm ³)	2.472	2.472	2.472		
	空隙率 (%)	4.0	4.0	4.0	3 ~ 6	
	飽和度 (%)	75.7	75.9	76.1	70 ~ 85	
	安定度 (kN)	12.06	12.25	13.89	4.90 以上	
	フロー値 (1/100cm)	29	30	29	20 ~ 40	
	残留安定度 (%)	—	—	—		
基準密度 (g/cm ³)	—	2.374	—			
動的安定度 (回/mm)	—	—	—			
すりへり量 (cm ²)	—	—	—			
透水係数 (cm/sec)	—	—	—			
混合物出荷目標温度	160 ± 10 °C					

*: プラントミックスタイプの改質材を使用の場合、現場配合の配合比および計量値は、その固形分を表示してある。

課 長	工 務 官	係 長	監督職員

材 料 承 諾 願

平成 年 月 日

監 督 職 員 殿

請 負 人 株式会社 井ノ内組
現場代理人 畔柳正男

下記のとおり関係書類を提出しますので承諾願います。

- 1 . 工 事 名 両総農業水利事業 第2揚水機場構内整備その4その他工事
- 2 . 材 料 名 アスファルト混合物(密粒13mm)

1112-54-004

第2揚水機場構内整備その4その他工事

アスファルト舗装の混合物承認願

康和建設株式会社千葉支店
多古瀝青混合工場試験室
千葉県香取郡多古町飯笹855-3番地
電話 (0479) 75-1145 番

〔使用アスファルト混合物承認願ひ〕

平成 年 月 日

発注者 関東農政局 両総農業水利事業所

受注者 株式会社 舩ノ内組
両総農業水利事業

工事名 第2揚水機場構内整備その4 その他工事

場 所 千葉県山武郡横芝町寺方地内外

工 期 平成 12年 7月 10日 ~ 平成 12年 7月 21日

本工事に使用する下記アスファルト混合物については、事前審査の認定を受けております。

使用アスファルト混合物承認願ひとしまして、「認定証」および、「総括一覧表」、「設計値一覧表」を、提出致します。
よろしく願ひいたします。

康和建設株式会社

工場名 康和建設株式会社 千葉瀝青混合工場
住 所 〒289-0801 千葉県山武郡古町飯笹855-3
TEL 0479-75-1143
FAX 0479-75-1146

1. 加熱アスファルト混合物

密粒度アスファルト混合物 (13mm-50回)

2. 再生アスファルト混合物

認定番号 8312-031-0003

認 定 証

康和建設(株)千葉瀝青混合工場
工場長 杉田 一誠 殿

アスファルト混合物事前審査制度による審査の結果
貴混合所の下記アスファルト混合物を認定します。

平成12年 3月16日

財団法人 道路保全技術センター
理事長 多田 宏 行



記

番号	認定混合物記号	アスファルト混合物の名称
1	V-02	粗粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
2	V-04	密粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
3	V-06	密粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
4	V-08	細粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
5	R-02	再生粗粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
6	R-03A	再生特別対策粗粒度アスファルト混合物(20)(75回) 改質Ⅱ型
7	R-04	再生密粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
8	R-04A	再生密粒度アスファルト混合物(20)(75回) 60/80
9	R-05A	再生特別対策密粒度アスファルト混合物(20)(75回) 改質Ⅱ型
10	R-06	再生密粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
11	R-08	再生細粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
12		以上
13		
14		
15		

有効期間 平成12年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日

※ (T)がついた混合物は東京都土木材料仕様書の基準値をも満足するものである。
 (K)がついた混合物は建設省関東地方建設局の基準値を満足するものである。

アスファルト混合物事前審査・認定混合物

[設計値一覧表]

康和建設株式会社
千葉瀝青混合工場

平成12年度

種別	記号	混合物名	使用 アスファルト (密度)	混合物設計値			
				基準密度 (理論密度) (g/cm ³)	AS量 (%)	粒度(%)	
						2.36mm	0.075mm
一般 合 材	V-02	粗粒度アスファルト混合物 (20) [50]	60~80 (1.033)	2.393 (2.503)	4.90	28.1	4.5
	V-04	密粒度アスファルト混合物 (20) [50]	60~80 (1.033)	2.396 (2.489)	5.30	38.5	5.8
	V-06	密粒度アスファルト混合物 (13) [50]	60~80 (1.033)	2.374 (2.472)	5.50	39.8	6.0
	V-08	細粒度アスファルト混合物 (13) [50]	60~80 (1.033)	2.345 (2.441)	6.40	53.3	7.7
再 生 合 材	R-02	再生粗粒度アスコン (20) [50]	60~80 (1.034)	2.393 (2.500)	5.00	28.5	4.6
	R-03A	再生改質粗粒度アスコン (20) [75]	改質Ⅱ型 (1.031)	2.400 (2.507)	4.80	28.5	4.6
	R-04	再生密粒度アスコン (20) [50]	60~80 (1.032)	2.399 (2.488)	5.30	38.8	5.9
	R-04A	再生密粒度アスコン (20) [75]	60~80 (1.032)	2.403 (2.492)	5.20	38.8	5.9
	R-05A	再生改質密粒度アスコン (20) [75]	改質Ⅱ型 (1.031)	2.402 (2.492)	5.20	38.8	5.9
	R-06	再生密粒度アスコン (13) [50]	60~80 (1.032)	2.375 (2.471)	5.50	40.0	6.1
	R-08	再生細粒度アスコン (13) [50]	60~80 (1.031)	2.345 (2.440)	6.40	53.1	7.5

事前審査認定アスファルト混合物（新規混合物）総括表



認定番号	8312-031-0003	混合所名	康和建设(株) 千葉瀝青混合工場			
認定証混合物番号					3 / 11	
混合物記号	V-06	有効期間	平成12年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日			
混合物の名称	密粒度アスファルト混合物(13)(50)60/80					
最大粒径	13 mm	突固め回数	50 回			
アスファルトの種類	ストレート 60/80		配合設計年月	平成11年10月		
使用骨材の室内配合・材質・産地			現場配合			
骨材名	配合比 (%)	材質	産地	種別	配合比 (%)	計量値 (kg)
C-				5ピン		
4号砕石				4ピン		
5号砕石				3ピン	27.9	167
6号砕石	35.0	硬質砂岩	茨城県西茨城郡岩瀬町	2ピン	29.3	176
7号砕石	27.5	〃	〃	1ピン	33.5	201
スクリーニングス	15.5	石灰岩	栃木県安蘇郡葛生町			
細砂	18.0	洗砂	千葉県香取郡栗源町	ダスト	0.8	4.8
石粉	4.0	石灰岩	東京都西多摩郡奥多摩町	石粉	3.0	18
				アスファルト	5.5	33
				改質材*		
計	100.0			計	100.0	599.8
通過質量百分率 %	ふるい目	室内配合	現場配合	確認抽出試験	粒度範囲	
	37.5 mm					
	31.5 mm					
	26.5 mm					
	19 mm	100	100	100	100	
	13.2 mm	98.8	99.4	99.3	95 ~ 100	
	4.75 mm	65.2	64.8	63.5	55 ~ 70	
	2.36 mm	39.9	39.8	39.5	35 ~ 50	
	600 μm	26.5	26.2	27.9	18 ~ 30	
	300 μm	17.7	18.4	18.8	10 ~ 21	
150 μm	9.0	9.0	9.9	6 ~ 16		
75 μm	6.2	6.0	7.0	4 ~ 8		
アスファルト量 (%)		室内配合	現場配合	確認試験	基準値	
設計 5.5		設計 5.5	設定 5.5	抽出 5.5	5 ~ 7	
マ安定試験	密度 (g/cm ³)	2.372	2.374	2.374		
	理論密度 (g/cm ³)	2.472	2.472	2.472		
	空隙率 (%)	4.0	4.0	4.0	3 ~ 6	
	飽和度 (%)	75.7	75.9	76.1	70 ~ 85	
	安定度 (kN)	12.06	12.25	13.89	4.90 以上	
	フロー値 (1/100cm)	29	30	29	20 ~ 40	
	残留安定度 (%)	—	—	—		
基準密度 (g/cm ³)	—	2.374	—			
動的安定度 (回/mm)	—	—	—			
すりへり量 (cm ²)	—	—	—			
透水係数 (cm/sec)	—	—	—			
混合物出荷目標温度	160 ± 10 °C					

*: プラントミックスタイプの改質材を使用の場合、現場配合の配合比および計量値は、その固形分を表示してある。

課長	工務官	係長	監督職員

材 料 承 諾 願

平成 年 月 日

監 督 職 員 殿

請 負 人 株式会社 舛ノ内組
現場代理人 畔柳正男



下記のとおり関係書類を提出しますので承諾願います。

- 1 . 工 事 名 両総農業水利事業 第2揚水機場構内整備その4その他工事
- 2 . 材 料 名 クラッシャーラン(C-40)

1112-54-005

第2揚水機場構内整備その4その他工事

平成 年 月 日

組内ノ姓(株)

殿

碎石 C-40

試 験 報 告 書

工事名 両総揚水農業水理事業第二揚水機構内整備工事

山武郡 横芝町 寺方 地内



岡本興業株式会社笠間工場

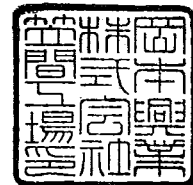
茨城県笠間市片庭字由良沢2505-1

TEL 0296(72)0815(代)

FAX 0296(72)6874

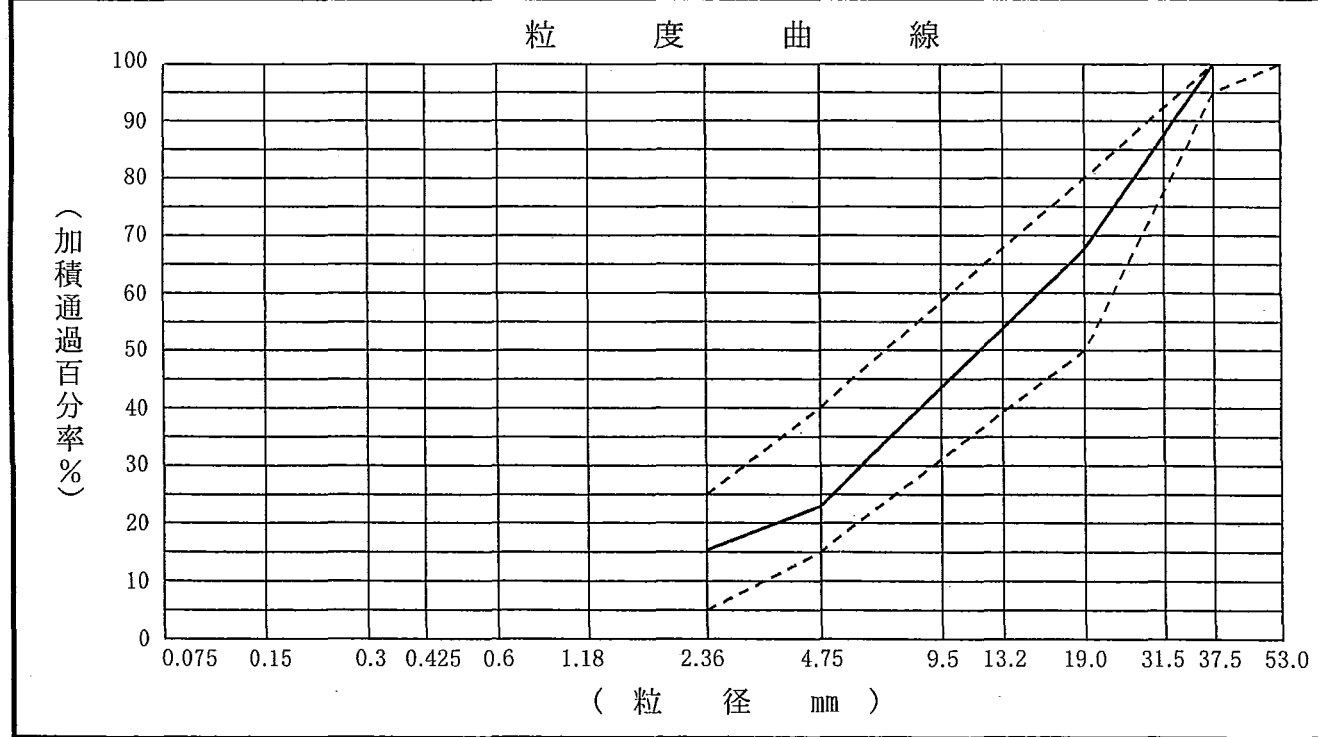
本 社 札幌市南区真駒内本町1丁目1番1号

TEL 011(841)1435(代)



茨城県笠間市片庭字申田289番地
殿 岡本興業株式会社 橋本工務場
TEL (0296)72-0815
骨材試験結果は下記のとおりであります。

工 事 名	県 内 外 工 事				
工 事 箇 所	市 郡		町 村		地 内
路 線 名					
骨 材 種 別	C-40	試 験 年 月 日	12 年 7 月 7 日		
調 査 名 ・ 目 的	品 質 管 理	試 験 者	谷 田 部 耕		
最 大 乾 燥 密 度	2.163 g/cm ³	粒 径 mm	試 料 質 量 g	残 留 %	加 積 通 過 %
最 適 含 水 比	4.1 %	53.0			
絶 乾 密 度	2.63 g/cm ³	37.5	0	0	100.0
吸 水 率	0.87 %	19.0	5,208	32.4	67.6
ロサンゼルス すりへり減量	17.7 %	4.75	7,090	44.2	23.4
修 正 C B R	87 %	2.36	1,294	8.1	15.3
塑 性 指 数 (I _p)	NP	>	2,462	15.3	
		計	16,054	100.0	
		摘要 JIS 粒度範囲		



JIS A 1205

土の液性限界・塑性限界試験

報告用紙

試験年月日 12 年 7 月 7 日

調査名・調査地点 品質管理 試験者 谷田部 耕一

材料種別 C-40

試料番号 No.

液性限界試験

塑性限界試験

測定番号	落下回数	含水比 %	測定番号	含水比 %
1	11	19.8	1	
2			2	
3			3	
4			4	
5			5	
6			6	平均值

液性限界 WL 塑性限界 Wp 塑性指数 Ip
 NP NP NP

備考 試料の調製方法などを記入する。
 液性限界試験は落下回数
 11回でズレ出し現象，測定不能。

試料番号 No.

液性限界試験

塑性限界試験

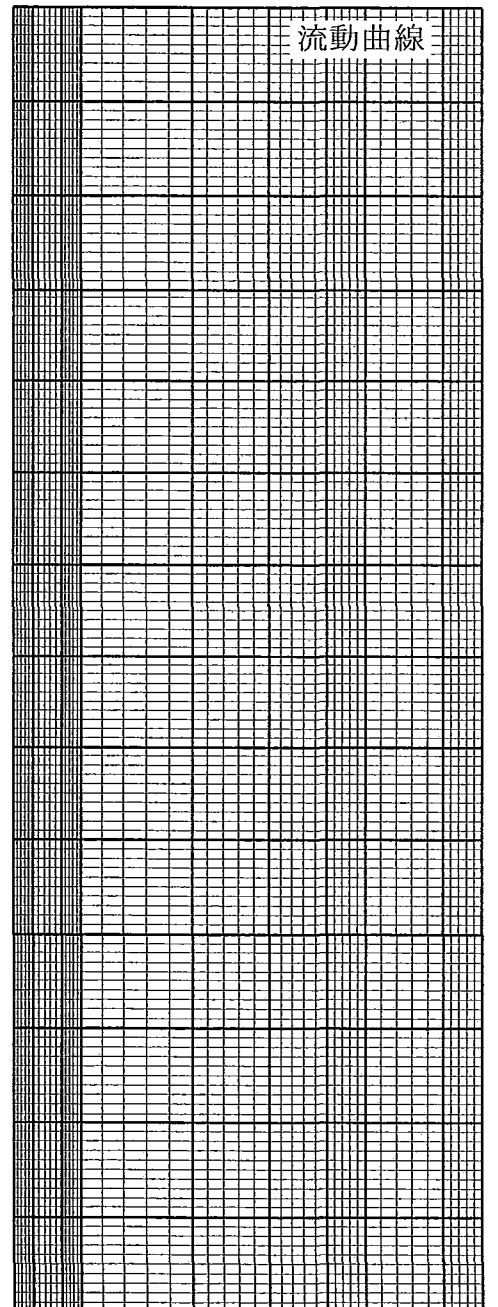
測定番号	落下回数	含水比 %	測定番号	含水比 %
1			1	
2			2	
3			3	
4			4	
5			5	
6			6	平均值

液性限界 WL 塑性限界 Wp 塑性指数 Ip
 % %

備考 試料の調製方法などを記入する。

落下回数

8 9 10 15 20 25 30 40 50



8 9 10 15 20 25 30 40 50

試験名

突固めによる土の締固め試験

JIS A 1210

工事名 _____

試験年月日 12年7月7日

試料名 C-40

試験者 谷田部 耕一

呼び名: 試験方法 E-b

突固め方法: 第1方法 第2方法 その他 試験準備: 乾燥法 非乾燥法

試料の使用別: 繰返し法 非繰返し法 含水比: 乾燥処理前 _____ % 乾燥処理後 _____ %

測定番号	1	2	3	4
(湿潤試料+モールド)質量g	9,248	9,447	9,712	9,681
湿潤試料質量 g	4,502	4,701	4,966	4,935
湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.038	2.128	2.248	2.234
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.002	2.068	2.162	2.134
含水比 W%	1.8	2.9	4.0	4.7
含水比測定	No. ma 5,411 mb 5,332 mb 5,332 mc 931 mw 79 ms 4,401 W= 1.8 %	No. ma 5,569 mb 5,438 mb 5,438 mc 909 mw 131 ms 4,529 W= 2.9 %	No. ma 5,819 mb 5,630 mb 5,630 mc 893 mw 189 ms 4,737 W= 4.0 %	No. ma 5,826 mb 5,606 mb 5,606 mc 926 mw 220 ms 4,680 W= 4.7 %

測定番号	5	6	7	8
(湿潤試料+モールド)質量g	9,526			
湿潤試料質量 g	4,780			
湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.164			
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.051			
含水比 W%	5.5			
含水比測定	No. ma 5,620 mb 5,374 mb 5,374 mc 901 mw 246 ms 4,473 W= 5.5 %	No. ma _____ mb _____ mb _____ mc _____ mw _____ ms _____ W= _____ %	No. ma _____ mb _____ mb _____ mc _____ mw _____ ms _____ W= _____ %	No. ma _____ mb _____ mb _____ mc _____ mw _____ ms _____ W= _____ %

※ その他の突固め方法: ランマー質量 4.5 kg 落下高 45 cm 突固め回数 92 回/層 (3 層)

モールド容量: 10cmモールド・1000cm³ 15cmモールド・2209cm³ その他

試験名

突固めによる土の締固め試験

JIS A 1210

調査名目的 品質管理

試験年月日 12年7月7日

試験料名 C-40

試験者 谷田部 耕一

試験方法の呼び方: 試験方法 E-b

乾燥処理前含水 _____ % 乾燥処理後含水 _____ %

突固め方法: 第1方法・第2方法・その他

試験開始前含水 _____ % 土粒子の比重: _____

モールド内径: 10 cm ・ 15 cm ・ cm

試料の使用別: 繰返し法 非繰返し法

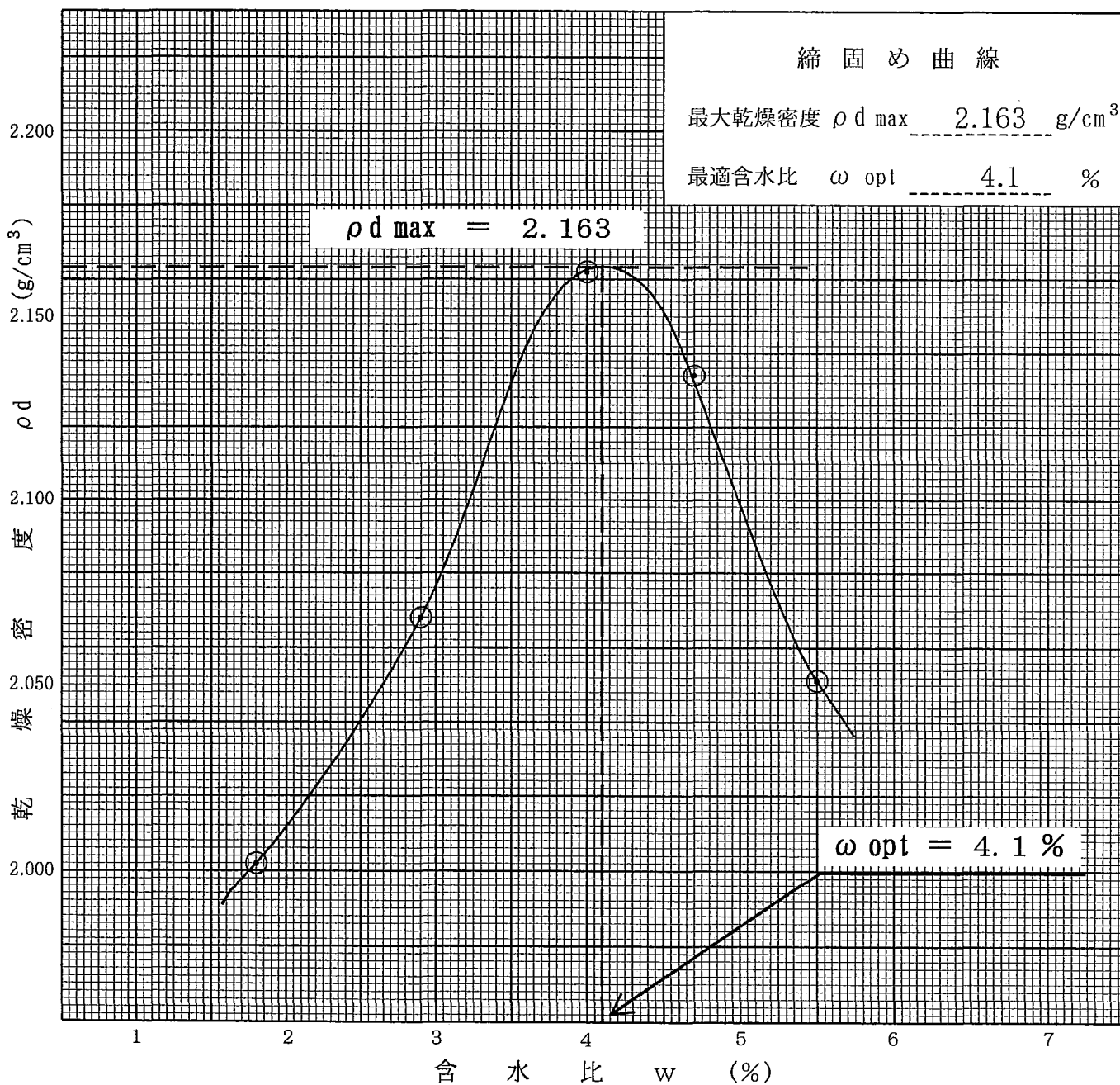
試料の準備法 乾燥法・非乾燥法

測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.002	2.068	2.162	2.134	2.051			
平均含水比 W %	1.8	2.9	4.0	4.7	5.5			

締固め曲線

最大乾燥密度 $\rho_{d \max}$ 2.163 g/cm³

最適含水比 ω_{opt} 4.1 %



JIS A 1211	C B R 試験	(乱した土の室内実験)	報告用紙
------------	----------	-------------	------

試験月日 12年7月7日

調査名目的 品質管理

工事番号

工事ヶ処

路線名

採取ヶ処 笠間市片庭字由良沢

試料名 C-40

試験者 谷田部 耕一

試料の含水比	3.9 %
最適含水比	4.1 %
最大乾燥密度	2.163 g/cm ³
67回3層乾燥密度	g/cm ³
17回3層乾燥密度	g/cm ³
67回3層 C B R	%
17回3層 C B R	%
最大乾燥密度の95%修正 C B R	87 %
最大乾燥密度の %	" %

供試体の作製 (水浸) 非水浸

突固め回数	湿潤供試体+モールド質量 g	モールド質量 g	湿潤供試体質量 g	モールド体積 V cm ³	湿潤密度 ρt g/cm ³	乾燥密度 ρd g/cm ³
92回 3層	9,395	4,445	4,950	2209	2.241	2.157
42回 "	9,241	4,447	4,794	2209	2.170	2.089
17回 "	8,965	4,430	4,535	2209	2.053	1.976
67回 "				2209		

含水比測定

ma	5,554	mb	5,378
mb	5,378	mc	905
mw	176	ms	4,473
W =		3.9 %	

貫入量 mm	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	5.0	7.5	10.0	12.5	修正 2.5貫入
荷重 KN	92回	2.67	6.23	8.45	11.57	15.13	29.59			
	42回	2.22	4.00	6.45	8.23	10.68	20.24			
	17回	0.89	1.78	3.11	4.45	5.78	10.46			
	67回									

C B R 標準荷重 19.9 KN

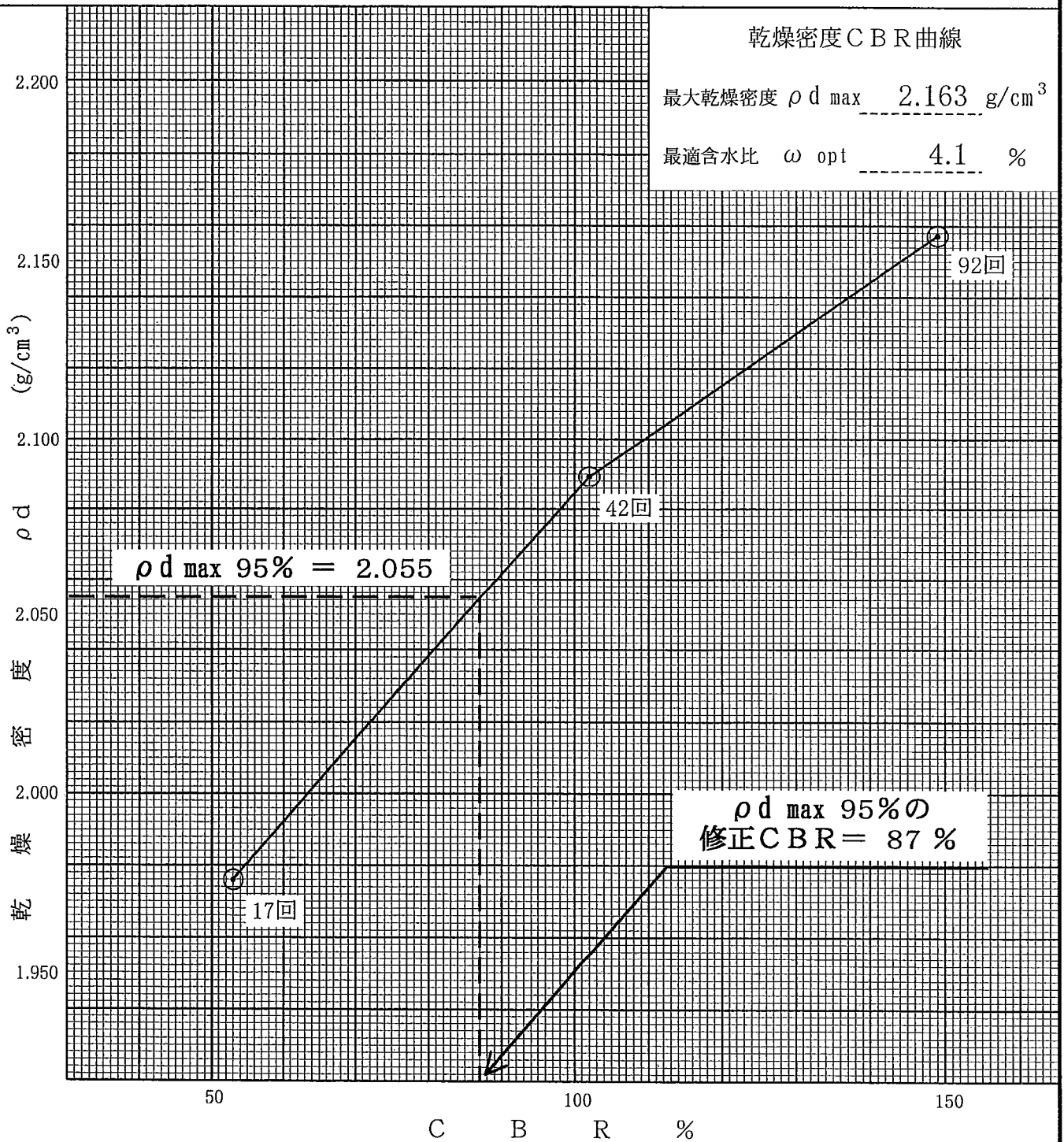
	92回 3層	42回 3層	17回 3層	67回 3層
C B R %	148.7	101.7	52.6	

乾燥密度 C B R 曲線 図

調査名目的	品質管理
工事名	
工事ヶ処	

修正 C B R	
最大乾燥密度の95%	87 %
" % (所要の締固度に対応する)	%

種 別	C-40
産 地	笠間市片庭字由良沢





課 長	工 務 官	係 長	監督職員

材 料 承 諾 願

平成 年 月 日

監 督 職 員 殿

請 負 人 株式会社 舛ノ内組
現場代理人 畔柳正男



下記のとおり関係書類を提出しますので承諾願います。

- 1 . 工 事 名 両総農業水利事業 第2揚水機場構内整備その4その他工事
- 2 . 材 料 名 クラッシャーラン(C-40)

1112-54-006

第2揚水機場構内整備その4その他工事

平成 年 月 日

組内ノ舛舛

殿

碎石 C-40

試 験 報 告 書

工事名 両総揚水農業水理事業第二揚水機構内整備工事

山武郡 横芝町 寺方 地内



岡本興業株式会社笠間工場

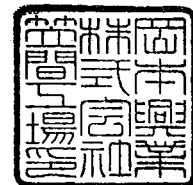
茨城県笠間市片庭字由良沢2505-1

TEL 0296(72)0815(代)

FAX 0296(72)6874

本 社 札幌市南区真駒内本町1丁目1番1号

TEL 011(841)1435(代)



茨土木指 No. 9
岡発 第 28351 号

茨城県笠間市片庭字中野

殿 岡本興業株式会社

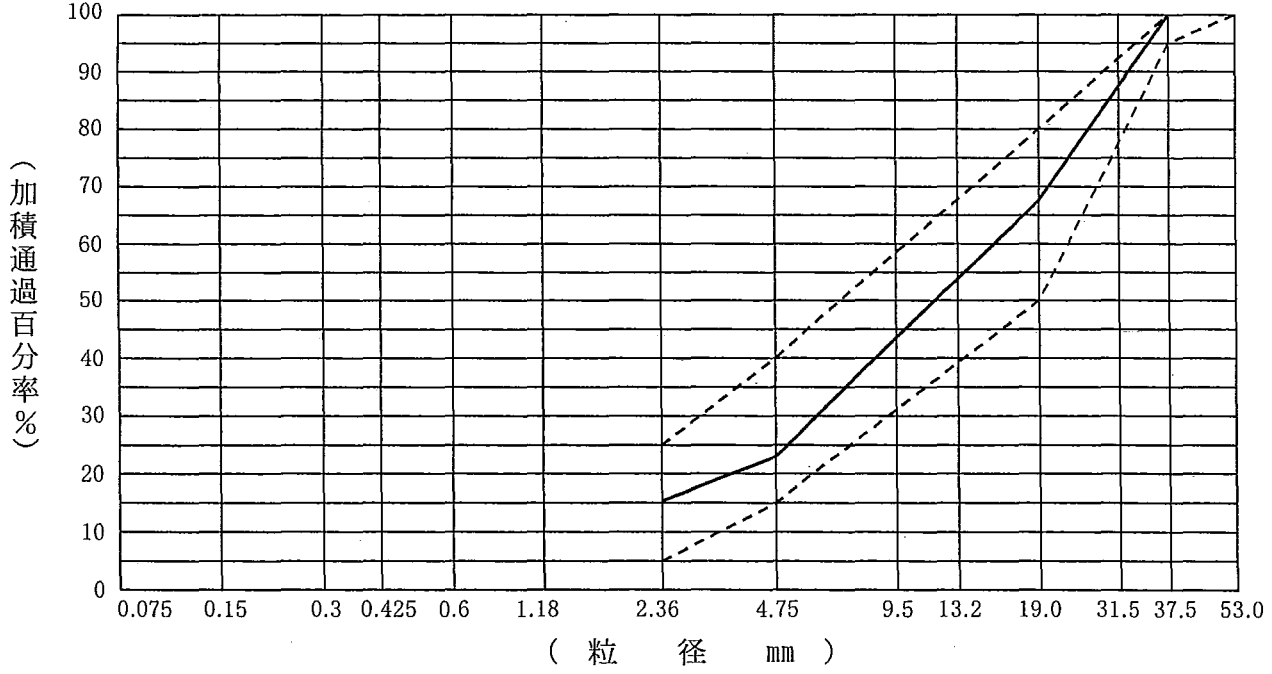
TEL (0296)72-0815

骨材試験結果は下記のとおりであります。



工事名	県内外 工事				
工事箇所	市郡	町村	地内		
路線名					
骨材種別	C-40	試験年月日	12 年 7 月 7 日		
調査名・目的	品質管理	試験者	谷田部 耕		
最大乾燥密度	2.163 g/cm ³	粒径 mm	試料質量 g	残留 %	加積通過 %
最適含水比	4.1 %	53.0			
		37.5	0	0	100.0
絶乾密度	2.63 g/cm ³	19.0	5,208	32.4	67.6
		4.75	7,090	44.2	23.4
吸水率	0.87 %	2.36	1,294	8.1	15.3
		>	2,462	15.3	
ロサンゼルスすりへり減量	17.7 %				
修正 C B R	87 %				
塑性指数 (I _p)	NP	計	16,054	100.0	
		摘要	JIS 粒度範囲		

粒 度 曲 線



JIS A 1205

土の液性限界・塑性限界試験

報告用紙

試験年月日 12 年 7 月 7 日

調査名・調査地点 品質管理 試験者 谷田部 耕一

材料種別 C-40

試料番号 No.

液性限界試験

塑性限界試験

測定番号	落下回数	含水比 %	測定番号	含水比 %
1	11	19.8	1	
2			2	
3			3	
4			4	
5			5	
6			平均値	

液性限界 WL 塑性限界 Wp 塑性指数 Ip
 NP NP NP

備考 試料の調製方法などを記入する。
 液性限界試験は落下回数
 11回でズレ出し現象，測定不能。

試料番号 No.

液性限界試験

塑性限界試験

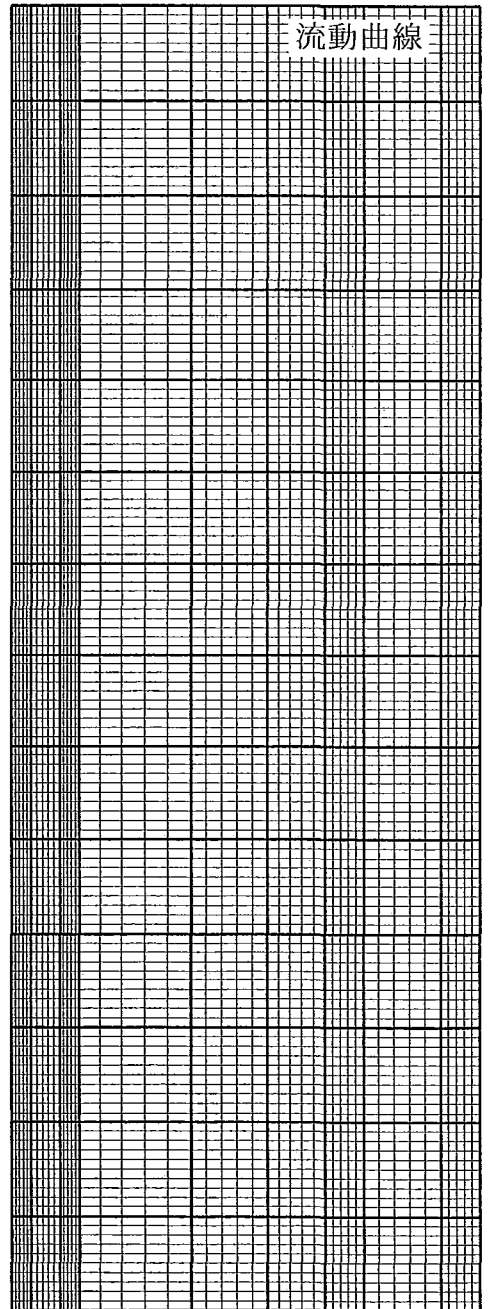
測定番号	落下回数	含水比 %	測定番号	含水比 %
1			1	
2			2	
3			3	
4			4	
5			5	
6			平均値	

液性限界 WL 塑性限界 Wp 塑性指数 Ip
 % % %

備考 試料の調製方法などを記入する。

落下回数

8 9 10 15 20 25 30 40 50



(%)
水 比

8 9 10 15 20 25 30 40 50

試 験 名	突固めによる土の締固め試験	JIS A 1210
-------	---------------	------------

工 事 名 _____ 試験年月日 12 年 7 月 7 日
 試 料 名 C-40 試 験 者 谷 田 部 耕 一

呼 び 名: 試験方法 E-b

突固め方法: 第1方法 第2方法 その他 試験準備: 乾燥法 非乾燥法

試料の使用別: 繰返し法 非繰返し法 含水比 : 乾燥処理前 _____ % 乾燥処理後 _____ %

測定番号	1	2	3	4
(湿潤試料+モールド)質量 g	9,248	9,447	9,712	9,681
湿潤試料質量 g	4,502	4,701	4,966	4,935
湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.038	2.128	2.248	2.234
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.002	2.068	2.162	2.134
含水比 W%	1.8	2.9	4.0	4.7
含 水 比 測 定	No.	No.	No.	No.
	ma 5,411 mb 5,332	ma 5,569 mb 5,438	ma 5,819 mb 5,630	ma 5,826 mb 5,606
	mb 5,332 mc 931	mb 5,438 mc 909	mb 5,630 mc 893	mb 5,606 mc 926
	mw 79 ms 4,401	mw 131 ms 4,529	mw 189 ms 4,737	mw 220 ms 4,680
	W= 1.8 %	W= 2.9 %	W= 4.0 %	W= 4.7 %

測定番号	5	6	7	8
(湿潤試料+モールド)質量 g	9,526			
湿潤試料質量 g	4,780			
湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.164			
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.051			
含水比 W%	5.5			
含 水 比 測 定	No.	No.	No.	No.
	ma 5,620 mb 5,374	ma _____ mb _____	ma _____ mb _____	ma _____ mb _____
	mb 5,374 mc 901	mb _____ mc _____	mb _____ mc _____	mb _____ mc _____
	mw 246 ms 4,473	mw _____ ms _____	mw _____ ms _____	mw _____ ms _____
	W= 5.5 %	W= _____ %	W= _____ %	W= _____ %

※ その他の突固め方法: ランマー質量 4.5 kg 落下高 45 cm 突固め回数 92 回/層 (3 層)

モールド容量: 10cmモールド・1000cm³ 15cmモールド・2209cm³ その他 _____

試験名

突固めによる土の締固め試験

JIS A 1210

調査名目的 品質管理

試験年月日 12年7月7日

試験料名 C-40

試験者 谷田部 耕一

試験方法の呼び方: 試験方法 E-b

乾燥処理前含水 _____ % 乾燥処理後含水 _____ %

突固め方法: 第1方法・第2方法・その他

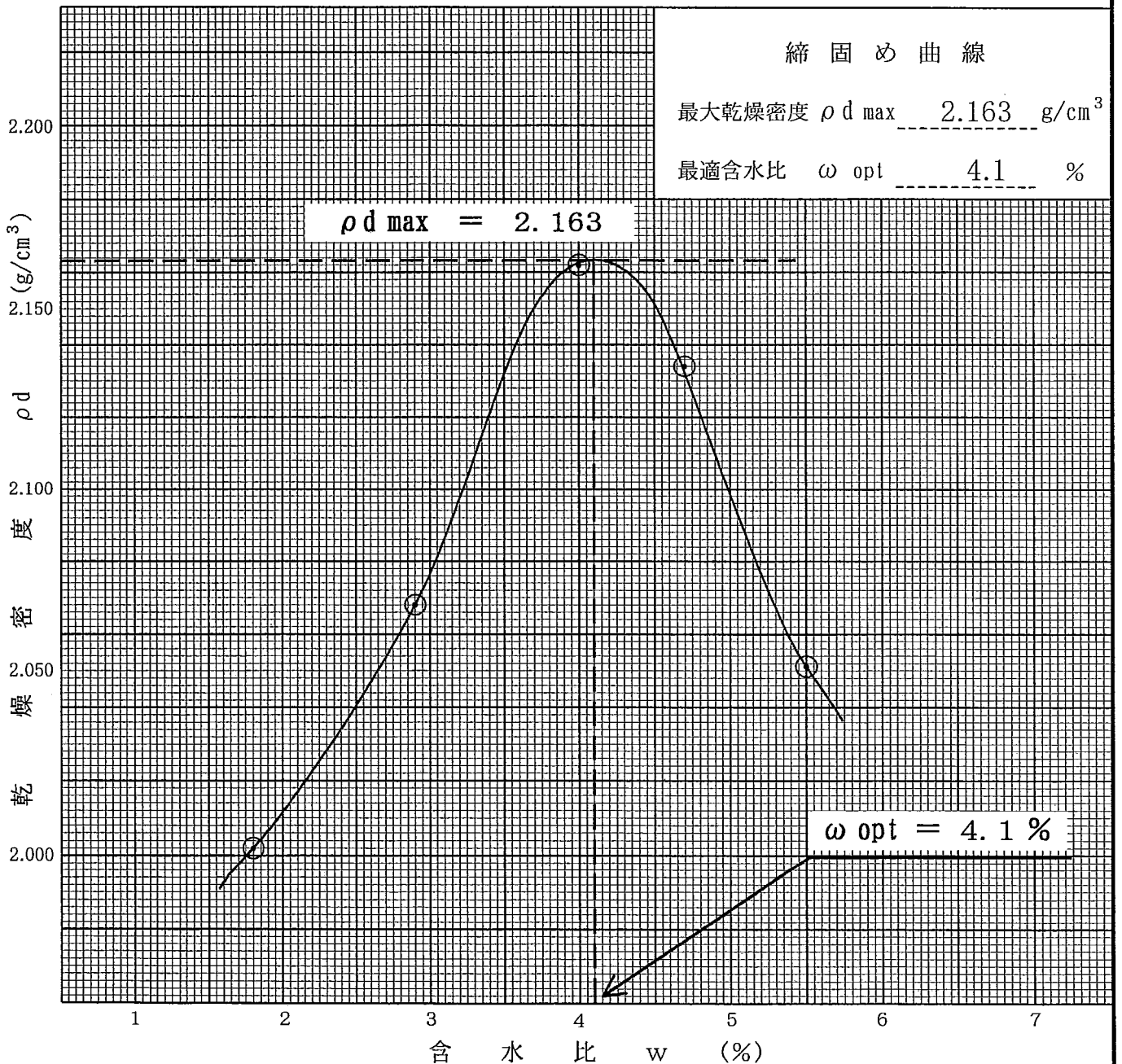
試験開始前含水 _____ % 土粒子の比重: _____

モールド内径: 10 cm ・ 15 cm ・ cm

試料の使用別: 繰返し法 非繰返し法

試料の準備法: 乾燥法・非乾燥法

測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.002	2.068	2.162	2.134	2.051			
平均含水比 W %	1.8	2.9	4.0	4.7	5.5			



JIS A 1211	C B R 試験	(乱した土の室内実験)	報告用紙
------------	----------	-------------	------

試験月日	12年7月7日	試料の含水比 <u>3.9 %</u> 最適含水比 <u>4.1 %</u> 最大乾燥密度 <u>2.163 g/cm³</u> 67回3層乾燥密度 <u>g/cm³</u> 17回3層乾燥密度 <u>g/cm³</u> 67回3層CBR <u>%</u> 17回3層CBR <u>%</u> 最大乾燥密度の95%修正CBR <u>87 %</u> 最大乾燥密度の % " <u>%</u>
調査名目的	品質管理	
工事番号		
工事ヶ処		
路線名		
採取ヶ処	笠間市片庭字由良沢	
試料名	C-40	
試験者	谷田部 耕一	

供試体の作製 (水浸) 非水浸

突固め回数	湿潤供試体+ モールド質量 g	モールド 質量 g	湿潤供試体 質量 g	モールド体積 V cm ³	湿潤密度 ρ _t g/cm ³	乾燥密度 ρ _d g/cm ³
92回 3層	9,395	4,445	4,950	2209	2.241	2.157
42回 "	9,241	4,447	4,794	2209	2.170	2.089
17回 "	8,965	4,430	4,535	2209	2.053	1.976
67回 "				2209		

含水比測定

ma	5,554	mb	5,378
mb	5,378	mc	905
mw	176	ms	4,473
W =		3.9 %	

貫入量 mm	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	5.0	7.5	10.0	12.5	修正 2.5貫入
荷重 KN	92回	2.67	6.23	8.45	11.57	15.13	29.59			
	42回	2.22	4.00	6.45	8.23	10.68	20.24			
	17回	0.89	1.78	3.11	4.45	5.78	10.46			
	67回									

C B R	標準荷重 <u>19.9</u> KN			
	92回 3層	42回 3層	17回 3層	67回 3層
C B R %	148.7	101.7	52.6	

乾燥密度 C B R 曲線 図

調査名目的	品質管理
工事名	
工事ヶ処	

修正 C B R	
最大乾燥密度の95%	87 %
" % (所要の締固度に対応する)	%

種 別	C-40
産 地	笠間市片庭字由良沢

